

神小だより 第7号

令和5年10月10日



郡小陸上記録会

「運動会、お世話になりました。」

9月23日(土)、朝の雨で運動場の状態が心配されましたが、神山中学校の先生方のご協力をいただいてグラウンドを整備し、何とか運動会を実施することができました。高学年児童も積極的に準備にあたり、約1時間遅れの午前10時に入場行進を始めることができました。今年は数年ぶりの人数制限等のない運動会ができ、保護者の方はもちろん、ご家族のみなさまにもたくさん参観していただきました。インフルエンザ等で欠席せざるを得ない児童がいたことは残念でしたが、その友だちの思いも胸に全員が「全力疾走！みんなで輝け、92人の声援」のスローガンに近づけるようがんばりました。

高学年児童は、競技・演技だけでなく、その準備や片付けも担当しました。たいへん忙しかったと思いますが、きびきびと動く姿にたのもしさを感じました。観客のみなさまからの応援を力に、どの競技・演技にも練習の成果を発揮し、みんなが輝く運動会となりました。1年生にとっては初めての運動会。6年生にとっては小学校生活最後の運動会となりました。森下PTA会長様から児童に向け「楽しさをつくってくれた上級生に感謝し自分も立派な神小の子どもになろう」と最高の講評をいただきました。

保護者のみなさま、本当にお世話になりました。



入場行進



選手宣誓



ラジオ体操



徒競走(下学年)



徒競走(上学年)



玉入れ(下学年)



障害物競走(上学年)



障害物競走(下学年)



阿波踊り(上学年)



一輪車パレード



ダンス(下学年)



タイヤ争奪戦(上学年)



全員リレー(下学年)



全員リレー(上学年)

郡小陸上運動記録会に5・6年が参加しました。

10月5日(木)、郡小学校陸上運動記録会が開催されました。参加した児童は、しっかり自己ベストに挑戦しました。「緊張した」と話す子が多くいました。この経験を今後の取組に生かし、大きく成長してくれると信じています。お疲れさまでした。



体験活動の秋

～様々な体験活動が行われました～

ぐんぐん育てわたしの野菜

10月3日(火)に1、2年生が生活科の学習で冬野菜を植えました。まちの食農教育の方々や地域の方々の協力のもと、学校の隣の大きな畑で種や苗を植えていきました。いろいろな種の色があることや水やりのことなど興味深く質問していました。ひとつひとつ丁寧に質問に答えていただきました。この野菜をもとにいろいろな方との交流ができる活動を予定しています。



収穫の秋～稲刈り体験～

10月4日(水)に5年生が稲刈り体験をしました。春に自分たちで植えた稲が大きく成長していることに驚くとともに稲を刈ることの難しさも実感していました。でも、子どもたちの吸収力はすばらしく、一度コツを覚えるとどんどん刈り取ることができていました。予定以上の広い面積を刈り取ることができ、教えていただいた方から褒めていただきました。



共に生きる～介護体験～

9月29日(金)に4年生が介護実習・普及センターの方をお招きし、車いす体験や高齢者疑似体験を行いました。体験を通して、高齢者や身体が不自由な方との関わり方、声のかけ方などを学びました。実際に右半身が不自由な80歳の高齢者の疑似体験を通して、身体の動きにくさや耳の聞こえにくさなどを学びました。



KAIR～視点を変えて見よう～

10月2日(月)に4年生がKAIR(神山アーティスト・イン・レジデンス)事業で、パトウーさんとミユラーさんという2人組のアーティストをお招きし、自然物を使った造形遊びに挑戦しました。コケや木の枝など普段目にしていないものに、子どもたちが新しい発見に感激している様子がとても新鮮でした。



校長室から ～「運動会 白いラインが 光る朝」～

この俳句は私が初めて担任をした4年生の女の子が作った俳句です。「俳句は写生」と言われる時がありますが、この俳句を読んだ時、私の目の前に「運動会の朝」の映像が飛び込んできたのを覚えています。しかも、なぜか数日前の内町小学校の運動会でなく、自分が小さかった頃の神領小学校運動会、町民グラウンドの風景が浮かんできたのには驚きました。30年経った今も忘れられない俳句となっているのはそのためです。

先日の運動会の朝も、あのコンディションの中でも、運動場には白いラインが光っていました。あの白いラインはいろんな人の「思い」や「願い」で光っています。すこし紹介すると、

まず全体練習が始まって間もなく、毎朝早く(一体何時からやっているのか・・・)から、体育主任を中心に、前日の練習の反省をもとに運動場でポイントの確認やグラウンド整備をする先生方の姿がありました。

先生方だけではなく、子どもたちも2学期が始まってすぐ、朝の活動の時間を使って草抜きをがんばりました。日に日にその人数は増えていきました。学童の先生方にも暑い中、草抜きのお手伝いをいただきました。ありがとうございました。(雑草だらけの運動場ではラインはたぶん光らないでしょうね。)

6年生はテント設営に挑戦しました。悪戦苦闘しながら、協力しながら自分たちで考え立てていきました。「ちょっと難しいこと」への挑戦を楽しむ意欲に満ちた姿が爽やかでした。(20年後の運動会も安泰です。)

保護者の方々は、テント設営のお手伝いお世話になりました。当初は昼までの開催であるし、テントの設営は昨年同様しない方向で考えていました。しかし、保護者の方々から申し出があり、たくさんの方のご用意いただきました。(テントは運動会には欠かせない風景であると再確認しました。)

運動会はやはり特別な日です。どんな難しいコンディションであっても、与えられた条件の中、全力で走り、全力で踊る子どもたちの姿に感動しました。一番近くていっしょに感動できる私たち大人は、本当に幸せですね。

～ 運動会に参加できなかった子どもたちへ ～

暑い中、「最高の運動会」にするために練習で見せたあなたのがんばる姿は、白いラインと同じくらいまぶしく光っていましたよ。保護者の方も当日のがんばる姿を見えなかったことは残念だと思いますが、ぜひ褒めてあげてください。